

モーツアルト盤を聴く (67) (HP 収載)  
—最新アナログシステムでの試聴(67)—

1. 始めに

前報(66)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回はピアノ三重奏曲です。

EMI C151-73052/4

モーツアルト Trio en si bemol majeur K254

Trio en re mineur K442

Trio en sol majeur K496

Trio en si bemol majeur K502

Trio en mi majeur K542

Trio e ut majeur K548

Trio en sol majeur K564

リリー・クラウス (ピアノ)

ウイリー・ボスコフスキー (ヴァイオリン)

ニコラウス・フーブナー (チェロ)

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

EMI 盤ということで、EMI、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

リリー・クラウスのピアノは明るく生き生きとして前面に躍り出る演奏です。これに合わせて、ウイリー・ボスコフスキーのヴァイオリンが艶やかに歌います。ニコ

ラウス・フーブナーのチェロは音量も小さく、控えめに両者をサポートするような演奏です。

### 3. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E の導入の交換などの総合的な効果として、ピアノ三重奏曲におけるピアノのリリー・クラウス、ヴァイオリンのウィリー・ボスコフスキー、チェロのニコラウス・フーブナーの三者それぞれの演奏スタイルが把握できました。

以上